



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 2 月 20 日(土)  
防災のまちづくり講座 編

防災のまちづくり講座、題して「手をつなごうHOTな心を伝えよう」が能代市南部公民館で開催されました。この講座は、市民団体のしろまちづくりグループ「ニューウエ〜ブ」と能代市男女共同参画推進委員会の共催で実現したもので、被災時の授乳や女性の着替えなど、防災は男女共同で考え、取り組むべきと企画したもので、50人以上の市民が参加しました。

いつものように、上町すみれ会メンバー3人はハイゼックシートによる非常食づくりのお手伝いとして参加しました。この日のメニューはカレーピラフ・紅しょうが酢飯・ご飯と漬物の混ぜご飯・お粥を準備。参加者全員で作業を行い、お鍋に入れて完了。ゆっくり、1時間ほどの時間をかけるのが美味しいご飯にするポイントです。

ご飯がたけるまでの時間は、渡辺千明先生に「男女共同参画と地域ですすめる結果防災のまちづくり」と題した講話をしていただき、日ごろから協働で地域づくりに取り組むことで災害時にも生きる「結果防災」の必要性を学びました。続いて、防災活動実践トークとして、我々、上町自治会の取り組みや平成19年の豪雨で被災された北秋田市の加賀谷隆之さん、消防本部の泉谷明警防課長、佐藤伊織消防士のパネリスト4人が話題を提供し、参加者と意見交換をしました。

その後、美味しく出来あがった非常食と豚汁に舌鼓。「これは、いいね！」とハイゼックシートに注文希望が殺到！準備の大変さを忘れた一瞬でした。この日、非常食作りを推進しておられる、大阪市在住の桑原英文氏《「ちいき」と「くらし」を創るNGO》が参加して下さり、ハイゼックシートにホットケーキミックスを入れると、袋の中でホットケーキができて、色々なトッピングをすると子供たちが喜ぶことを教えて頂きました。(今度挑戦！)

食後は、①介護・病人・障害者がいる暮らし②子どもがいる暮らし③高齢者(1人・2人)暮らし④家族に外国出身者がいる・自身が外国出身者の暮らし⑤自治会など地域の支援者の立場からの5班に分かれてグループトーク。問題点を出し合い、解決策を発表し、防災を考える貴重な講座となりました。皆さん、お疲れ様でした～(^-^)

文：能登 祐子



調理室で全員が避難食作りを行いました。



ご飯ができるまでの間は講演とパネルディスカッションです。皆さん熱心に参加されていました。



今回のご飯は大好評。身近な「食」から防災に関心が広がっていけば良いですね。



グループトークの成果を地域づくりの次の活動に是非つなげていきたいものです。